

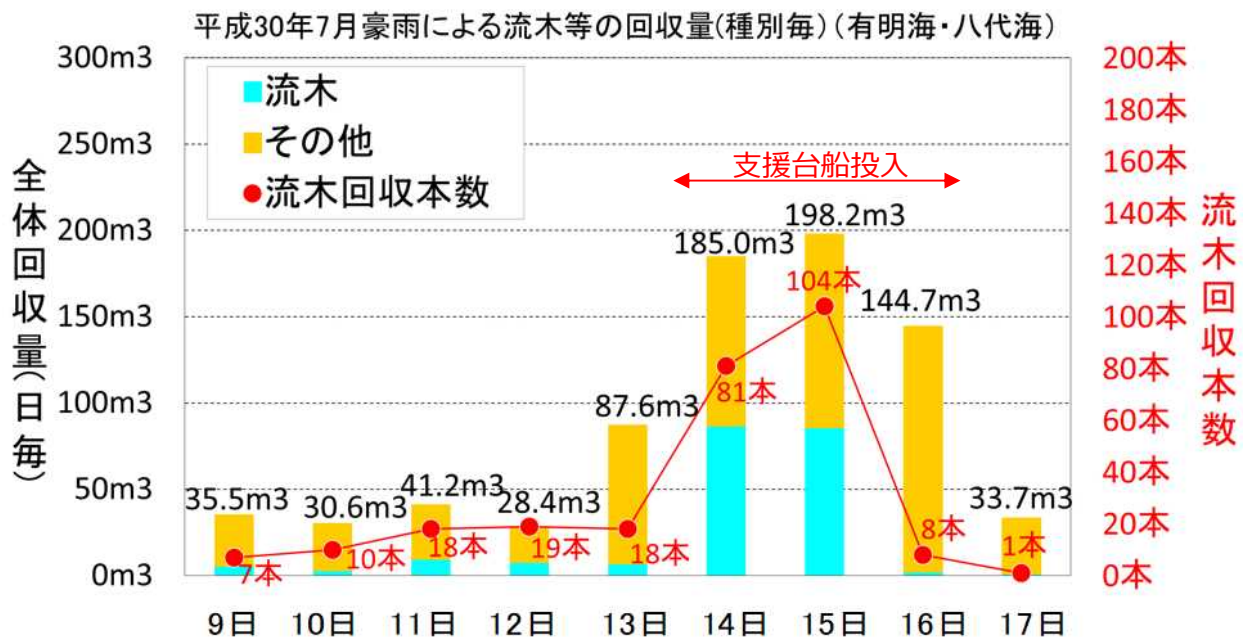
有明海・八代海において大量の漂流物を回収（第3報）

～ 平成30年7月豪雨に関する九州地方整備局の取り組み ～

支援台船、海洋環境整備船「海輝」「海煌」による漂流物回収結果

平成30年7月豪雨に伴う大雨の影響により、有明海・八代海において流木をはじめとした大量の漂流物が確認されました。

航行船舶の安全を確保するため、国土交通省九州地方整備局熊本港湾・空港整備事務所では、7月9日より海洋環境整備船「海輝」「海煌」2隻を投入して漂流物の回収作業を実施していましたが、依然として大量の漂流物があったため、（一社）日本埋立浚渫協会のクレーン付台船と連携した回収作業を7月14日から16日にかけて有明海において行いました。



台船を用いた3日間の回収量の合計は、527.9m³(内流木193本)でした。7月9日から17日まで9日間の累計は、784.9m³(内流木266本)となり、これは過去5年間における7月の平均回収量の約2倍の量に匹敵します。

なお、九州地方整備局では引き続き回収作業を実施してまいります。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
課長 本田 一行 代表：092-418-3380
国土交通省 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所
副所長 中川 雅登 代表：096-357-1134



[7月14日 クレーンで流木を回収中]



[7月15日 漁業者からの受け渡し]



[7月15日 海煌から支援台船へのごみ揚げ]



[7月16日 台船への積載状況]



■ 漂流ごみ回収海域



[7月16日 島原沖漂流ごみの状況]



[7月17日 台船からの陸揚げ]